



大内小学校



本荘南中学校



本荘南中学校



由利小学校

今日から1年生!! (4月8日)

こんにちは!

# 由利本荘市議会です

## 3月定例会

- 新年度予算と主な事業 ▶ P 2
- 3月定例会トピックス ▶ P 4
- 市長に問う! 会派代表質問 ▶ P 6
- ここが聞きたい 一般質問 ▶ P10
- 1月臨時会・3月定例会審議結果 ▶ P13
- お知らせします 議会の動き ▶ P15
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶ P16



鳥海小学校

# 令和8年度 一般会計予算総額

# 511億9800万円

令和7年度予算より81億1375万1千円(13.7%)減少

- 特別会計当初予算…209億8486万8千円
- 企業特別会計……………127億4752万1千円

## 1月臨時会 3月定例会

1月臨時会が、1月26日に開催され、専決処分1件、補正予算2件が承認・可決されました。

3月定例会は2月16日から3月18日までの31日間の会期で開催され、人事案件8件、条例関係37件、予算関係1件(特別会計への繰り入れ)、令和7年度補正予算18件、令和8年度予算15件、契約関係6件、その他10件の計95件が審議され、すべてが原案のとおり同意・可決されました。

また、請願1件については採択され委員会発案1件が可決されました。陳情3件については、それぞれ継続審査、不採択、趣旨採択と決しました。

さらに議員発案1件の追加提出議案も可決されました。

## …未来のさらなる飛躍を実現する重点施策…

### 1. 少子高齢化とそれに伴う人口減少に向けた取り組み

#### 主な事業

- ◆若者定住促進住宅取得支援事業 1000万円  
転勤などで市外から移り住んだ市外出身の若者の定住促進を図る
- ◆「架け橋プログラム」における架け橋期コーディネーター配置事業 709万円  
架け橋期コーディネーターを配置し、幼保小の連携・協働の質的向上を図り、全ての子どもに配慮した生活や学びの基礎の構築・改善を推進する
- ◆障がい児保育事業 1727万円  
障がい児保育を実施する保育所および認定こども園へ補助を行う



## 2. 地域資源を活かした関係人口の拡大と 外貨獲得の実現への取り組み

### 主な事業

◆第149回秋田県種苗交換会事業 3950万円

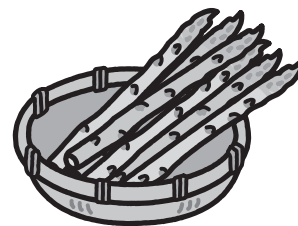
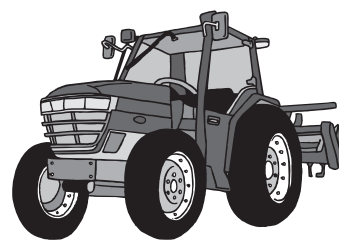
10月に本市開催される種苗交換会の機会を捉え市産品のPRと販売に積極的に取り組む

◆目指せ東北一!由利本荘市アスパラガス産地王国事業 4351万円

収益力向上を図り作付け面積を拡大する者、または新規にアスパラガスを作付けする者に支援を行い東北一のアスパラガス産地を目指す

◆ゆりほん遊学(地域みらい遊学) 365万円

移住促進の一環として矢島高校と連携し県外留学の受け入れを目指す



## 3. 頻発化・激甚化する災害から市民の生命や財産を 守る取り組み

### 主な事業

◆我が家の防災マニュアル作成事業 1607万円

最新の情報を踏まえた防災マニュアルを作成し全世帯に配布する

◆消防水利整備事業 2014万円

耐震性貯水槽1基を設置(大内地域)する

◆非常備消防機械器具等整備事業 1975万円

消防団の小型ポンプ付軽積載車1台(本荘分団)、軽積載車1台(岩城分団)、小型動力ポンプ1台(本荘分団)を更新する



## 4. その他

◆照明器具LED化(観光・学校・社会体育施設等) 4億1400万円

◆物価高騰対策

水道基本料金負担軽減 1億7779万円

◆ツキノワグマ等有害鳥獣被害防止対策

農作物等獣害防止対策支援 170万円

鳥獣被害防止事業 1150万円

◆令和6年発生豪雨災害復旧関連経費 35億7980万円



# 3月定例会のトピックス



文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

①… 総務常任委員会 ②… 教育民生常任委員会 ③… 産業建設常任委員会

## 安清苑（由利斎場）の廃止

令和7年度末を持って由利斎場が廃止されます。

**問** 廃止の理由は。 **②**

**答** 当斎場は、火葬炉点検において電気計装設備等の経年劣化による火葬停止リスクが指摘されたため、昨年7月から休止している。修繕に多額の費用を要することに加え、もともと令和9年度の廃止を予定していたことから、これらを総合的に判断し、本年3月末をもって前倒して廃止することとした。



廃止となった安清苑

## ゆりほん未来プラン

ゆりほん未来プランを策定しました。 **①**

**問** ゆりほん未来プランを市民と共有するための具体策は。

**答** 本市の今後10年を市民と共につくり上げていけるように、広報、ホームページへの掲載だけでなく、SNS、ケーブルテレビなど、あらゆる媒体をフル活用し、すべての市民への共有を目指す。

## 看護師等確保修学資金貸付条例

看護師の確保と地域医療の充実に向けた条例を制定します。 **②**

**問** 条例の内容は。

**答** 大学、学校、または看護師等養成所に在学中の方へ、修学資金として月額5万円を貸し付ける制度であり、卒業後に看護師等の免許を取得し、市内の医療機関等において5年間継続して業務に従事した場合、貸付金の返還が全額免除される。



## 特定乳児等通園支援事業

通称「こども誰でも通園制度」として、その運営が4月から始まります。 **②**

**問** どのような支援事業か。

**答** 「こども誰でも通園制度」は、親の就労状況を問わず、0歳6か月から満3歳未満の未就園児を預けられる制度。月10時間を上限に時間単位で利用できる。利用料は各事業所が定め、一人1時間300円が目安。保育所等での集団生活を通じ、こどもの成長支援と育児の孤立防止を目指している。



## アスパラガス産地王国事業

市の重点振興作物と位置付けているアスパラガスの更なる生産拡大を図ります。

(産)

**問** どのように行なうのか。

**答** スマート農業促進や雇用機会増加等の事業支援を県や農協との連携により拡充させ、担い手となる認定農業者等による生産拡大や新たな作付者の掘り起こしを図る。



加温栽培圃場のアスパラガス

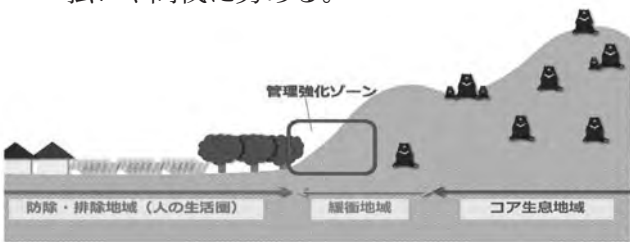
## クマ出没対策

管理強化ゾーンを設定し、市民生活を守ります。

(産)

**問** どの場所に設定するのか。また内容は。

**答** 本荘地域の新山周辺に設定し、緩衝帯整備の実施や長期にわたる鳥獣捕獲許可、捕獲上限の緩和、見通しをよくするための刈り払いや間伐に努める。



## 酒造事業者支援事業

昨今の米価高騰による酒米・加工用米価格上昇に支援を継続します。

(産)

**問** 支援内容の詳細は。

**答** 市内酒造業者4社に対して、令和7年産米と令和6年産米の60kgあたりの仕入価格の差額を補助し、経営安定、品質の高い酒造りの継続、雇用の維持・確保を図る。

## 行政協力事務交付金

町内会へアンケートを行いました。

(総)

**問** 行政協力事務交付金削減への反応は、また削減を決める前にアンケートを行うべきではなかったか。

**答** 現在アンケートは8割ほど回収しており、行政協力事務に関してさまざまな意見をいただいている。

もう少し説明がほしかったなどの意見をいただいているが、削減へ概ね理解を得ている印象である。

今後は、町内会と連携を密にし、説明を行った上で対応したい。

## 選挙ポスター掲示場設置

2月8日執行衆議院議員選挙の掲示場について報告します。

(総)

**問** 今回衆院選のポスター掲示場はかなり少なかったが今後の方向性は。

**答** 今回は特別豪雪地帯処置で1投票区に最低1か所という規定を採用した。

今後も減っていくものと思われ、社会状況に合わせ、3割程度削減を見越している。



## 第149回秋田県種苗交換会の開催

本市を会場に第149回大会が開催されます。

**問** 開催期間、会場等は。

(産)

**答** 令和8年10月31日(土)から11月4日(水)にナイスアリーナ、文化交流館カダーレ、西目公民館シーガル、市内ホテルを会場に各種行事を開催する。

# 会派代表質問

高志会



会長 高橋信雄



## 質問項目

- 令和8年度予算と今後について
- 行政改革の進め方について
- ごみの減量化と焼却ごみ処理の広域化について
- 産業振興について
- 観光振興について
- 教育現場のハラスメント対策について
- 2024年豪雨災害の復旧の進捗と入札不調について
- 公営事業の今後の在り方について
- 自動体外式除細動器(AED)等の更新について

### 行政改革の進め方と郵便局との連携は

**問** 行政改革の進め方において、総合支所・出張所の在り方と郵便局の連携についてどの様に認識し、調査・検討を進める考えは無いか。

**答** 出先機関の廃止に伴う業務の外部委託先については、ユニバーサルサービスの担い手として、広く地域をカバーしている郵便局の活用も、一つの方法と考えられ参考になるものと認識している。

### ごみの減量化と

#### 住民負担の在り方、プラスチックの分別は

**問** ごみ処理手数料の見直しにより、住民負担の増加が不法投棄の増加に繋がらないか。プラスチックの分別はどのようなものか。

**答** 昨年「ごみ減量化等推進委員会」の提言を受け、手数料の改定を行った。不法投棄の増加が懸念されることについては、広報誌や改定を予定している「ごみ分別リーフレット」等で不法投棄防止啓発に加え、パトロールや監視カメラ設置等、未然防止と抑止力の強化に努める。プラスチックの分別については、焼却炉の処理能力を抑えるコスト削減効果に加え、法律に基づき、有利な財源である交付金の活用条件として全ての参加自治体が分別収集を実施することとしている。

### 災害復旧の遅れと

#### 入札不調の改善を

**問** 入札不調の案件が多く、復旧が遅れ被災者、関係者は憤りを感じている。原因は何か。

**答** 被害件数の多さから農地、農業施設、林道、公共土木施設いずれも入札不調が多く復旧が遅れている。経済活動等への影響を長引かせ、地域の方々に不便をお掛けし深くお詫びする。入札不調の要因は被災件数が膨大で地



復旧が遅れている災害現場

元業者の対応力を超えていることに加え、査定決定後に行う詳細な調査設計により、その変更内容が査定時から大きく変わる箇所については、国から承認を得る必要があるなど、時間を要し、発注時期が遅れが生じたものも多くなっている。また、必要な予算は確保しており、入札不調への対応を進めている。「指名基準にかかる再入札の対応方針」を改定し、運用上の特例措置を講じ、復旧の加速化を図っている。

会派代表質問はQRコードからYouTubeよりご覧になれます。

# 施政方針・新年度予算について市長に問う！！

明日をひらく



会長 正木修一



## 質問項目

- ① 少子高齢化とそれに伴う人口減少に向けた取り組み
- ② 地域資源を活かした関係人口の拡大と外貨獲得の実現への取り組み
- ③ 頻発化・激甚化する災害から市民の生命や財産を守る取り組み
- ④ 農地災害復旧状況と作付け計画について
- ⑤ 住民自治のまちづくりについて
- ⑥ ICTを活用した教育
- ⑦ 文化財保護について
- ⑧ 給食費無償化実施について

### 人口減少に向けた取り組み

#### 問

若者に、本市を仕事や生活の場として選んでもらえるよう、魅力向上を図り、人口減少に歯止めをかけるための施策を継続しているが、移住者獲得競争などが激化するなか、他自治体との差別化や県との連携は。

#### 答

若者や女性から、仕事や生活の場として本市を選んでもらうことが重要だ。県外からの移住促進を図るため、県と協調し移住支援金の支給のほか、本市独自の施策で奨励金や補助金などの支援をおこなってきた。

若者・子育て世代を中心に、独自の移住施策を積極的に展開し、他市町村や県と連携しながら取り組みを強化していく。

### 農業資源を核とした

#### 関係人口の拡大

#### 問

地域資源を発掘し、高いブランド力に育て県事業との

連携を示しているが、農業資源を活用した関係人口の拡大への取り組みは。

#### 答

関係人口の拡大に向けた農業資源活用の取り組みとして「米づくり体験プロジェクト」「親子食育・地域文化交流授業」など、本市との関係性を向上させ、食文化を通して都市住民との交流を深め、持続的な関係づくりを進めていく。



増やそう由利本荘ファン

### 住民自治のまちづくり

#### 問

市民と行政との適正な役割分担に基づき、住民自身で解決できる体制づくりを推進しているが、市の考える住民自治のまちづくりとは。

#### 答

町内会などの地域コミュニティの維持は、安心安全に生活する上で大変重要と考えている。地域住民の声を伺い、それぞれの実情に沿った形でコミュニケーション活動を継続できるよう後押ししていく。

### ゆりほんICT子供の学びアップデートプラン

#### 問

子供たちのICT活用能力を育み、最適な学びを推進し、児童生徒の発達段階に応じて、4つの段階で進めていくとしている。

現段階での成果と、さらなるスキルアップへの計画は。

#### 答

児童が自らの興味・関心に応じて学習手段や方法を選ばれたり、ICTにより可視化された考えを基に思考を再構成したり、一人ひとりに応じた授業となっている。

児童生徒のICT活用能力の一層の向上を図り、創意工夫を生かした表現活動を充実させていく。



会長 岡見善人

質問項目

- ① 「ゆりほん未来プラン」に基づく市長の施政方針について
- ② 新年度予算(案)の3つの重点課題について
- ③ 教育方針について

会派代表質問

人口減少に向けた取り組みは

**問** 人口減少対策として、働きがいのある魅力的な職業・企業が求められており、そのひとつとして、データセンターの誘致をすべきと考えるが。

**答** DXの進展やAIの普及による成長分野であるデータセンターは本市の強みを活かした新たな誘致企業の有力な候補として捉えている。

再エネ資源の活用も視野に入れながら、データセンターを含む成長分野の誘致活動に取り組んで行く。

**問** 「起業するなら由利本荘市で」を求めて移住されるよう、積極的なPR活動をすべき。

**答** 起業や人材確保に対する様々な支援制度を含め、本市の魅力为首都圏移住希望者へ広くPRすることは、若年層を中心とした人口減少対策として、極めて有効であることから、今後も関係

機関と連携し、首都圏で開催される「あきた就職フェア」などを通して、PR活動を継続して行く。

地域コミュニティを支える人材育成は

地域コミュニティを

**問** 高齢化により地域において役員の成り手がいなく自治会運営が厳しいとの声を聞く。その課題解決に向けて、具体的にどのような支援と人材育成を行って行くのか。

**答** 地域活動を支える人材の不足によるコミュニティの希薄は極めて深刻な課題であると認識している。

市役所、総合支所、公民館に設置している「地域コミュニティサポート窓口」が、町内会が直面する様々な課題に対し、地域の実情に合った活動を支援して行く。

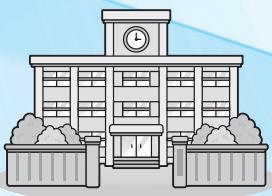
令和8年度は新たに「住みつづけたいまちづくり事業」において、地域の人材育成を目的とした町内会の研修にも活用できるメニュー

を設け、人材の育成強化を支援して行く。

学校と地域をつなぐ学校運営協議会の周知を

**問** 学校と地域をつなぐ学校運営協議会は、児童・生徒におけるふるさと愛の醸成の面においても重要であるが、この協議会の認知度が低いように感じる。行政側からも、広く周知されてはどうか。

**答** 学校運営協議会の主体的な取組や地域コーディネーターが円滑に活動できるよう、今後にも支援するとともに、コミュニティスクールや地域学校協働活動への市民の理解と参加が得られるよう、引き続き周知啓発に努めて行く。



# 施政方針・新年度予算について市長に問う！

## 市民の窓口



幹事長 松本学



### 質問項目

- ① ゆりほん未来プランの目指す10年後のまちの姿について
- ② 最重要課題とする人口減少下にあっても市民が豊かに暮らせるまちづくりについて
- ③ 3つの施策の柱について  
(1) 少子高齢化とそれに伴う人口減少に向けた取り組み  
(2) 地域資源を活かした関係人口の拡大と外貨獲得の実現への取り組みについて
- ④ 頻発化・激甚化する災害から市民の生命や財産を守る取り組みについて
- ⑤ 森林環境譲与税の活用とJ-クルージュ制度の取り組みについて
- ⑥ 環鳥海エリアの一体的な観光振興について

**ゆりほん未来プランの目指す10年後のまちの姿**

**問** 「市民一人一人が希望を叶え自分らしく暮らすまち」の実現により、市がどのように変わっていくのか。

**答** 今よりも必要な医療や福祉を受けられ、充実した環境で子育てを行い、やりがいを持って働き、地域への誇りを実感しながら暮らし、誰一人取り残されることのない社会になることを思い描いた。

**人口減少下にあっても市民が豊かに暮らせるまちづくり**

**問** 市民が実感を得るためには、言葉の意味の共有が必要「豊かに暮らす」とは。

**答** 「豊かに暮らす」とは、安心して暮らせること、自分らしさを発揮できること、地域との関わりを実感できること、そして未来に明るい希望を持てることであり、本市の将来像の実現を支える視点である。

**頻発化・激甚化する災害から市民の生命や財産を守る取り組み**

**問** 今後の防災の観点から、被害を最小限に抑えるための危険箇所の把握、事前補修工事などの考えは。

**答** 近年の豪雨は事前補修工事の有無にかかわらず甚大な被害が発生するが、保全作業を計画的・日常的に実施することは大変重要と考えており、市民からの積極的な情報提供をお願いし、激甚化・頻発化する大雨にあっても、被害拡大の防止に向け補修を実施する。

**環鳥海エリアの一体的な観光振興について**

**問** 他市町と比べた時の本市の強み、一層磨くべき既存の観光資源とは。

**答** 本市には眺望や温泉、歴史文化、グルメなど、滞在型観光に活用できる多様な資源が揃っているが、情報発信の手法やターゲット設定、受け入れ環境の整備などの取組に工夫の余地がある。

**「架け橋プログラム」について**

**問** 導入経緯と現状に対する必要性は。

**答** これまでも園と小学校の連携協議会などで情報共有を図り、幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行に努めてきたが、幼児期の遊びを通じた学びと、小学校の教科中心の学習との違いがあり、十分な相互理解が図られていなかった。このため、5歳児から小学校1年生を「架け橋期」と位置付け、すべての子供の学びや生活の基盤を育むことを目指した体制の整備を進め、学びの連続性を確保する。



本市観光の強みの一つ「鳥海山春スキー」

# 一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。すべての質問項目は次のとおりです。（内容を掲載している項目番号には、○をつけています。）

## 10P 新宅慈（明日をひらく）

- ① 令和8年度組織機構改革後の体制について
- ② 今後の鳥獣害対策について
- ③ 由利橋の問題について

## 11P 大友ます子（高志会）

- ① 合併20周年記念事業の成果と検証について
- ② DXを活用したAIオンデマンド交通「ゆりほんのれつた」について
- ③ 小中学校の入学支援金制度の創設について

## 11P 小田彩（高志会）

- ① 市の障がい福祉の充実について
- ② 乳がん検診受診率向上に向けての無痛MRI検診にかかる費用助成について
- ③ 市職員の出生サポート休暇（不妊治療休暇）取得への支援について

## 12P 大友孝徳（市民の窓口）

1. 市民参加を促進するためのパブリックコメント制度改善について
- ② 本市でも稼ぐ挑戦を
- ③ 住宅向けPPA導入で家計支援と脱炭素および災害耐性向上を
- ④ 地域間格差を生まない部活動地域展開のために交通支援を

## 12P 栗野希穂（立憲民主党）

- ① 「この街で、もう一人」と願える子育て支援を
- ② 熊スプレーの適正な管理と廃棄に関する周知・回収体制の整備について



3月定例会では、5人の議員が質問に立ちました。YouTube配信をQRコードよりご覧になれます。



**問** 今後職員の減る各地域において、住民の声を聴く体制・地域の現状について調べる体制はどう維持していくのか。

**答** この度の改革では、市役所内部の事務・事業を見直しつつ「これまでどおりの総合支所」を継続することを基本とした。窓口での対面による対応、現場に向き状況を把握するための対応、緊急時の初期対応の三分野に特化し、聴く体制・調べる体制をつくる。職員体制の変化を運用面で工夫することで地域における行政サービスの水準を確保する。4月以降実施状況を検証し、必要な場合は見直すなど柔軟に対応する。

## 令和8年度 組織機構改革後の体制は



新宅慈  
(明日をひらく)



子吉川左岸から見た由利橋

**問** 令和7年12月のケーブル制振装置の破損以降の由利橋の状況とその後の原因調査の状況は。また、今後の修繕の考え方は。

**答** 現在の由利橋の状況は、制振装置は設置されていないがポルト等の落下の恐れもなく、ケーブル振動が直ちに橋の安全性には影響しないと考えている。ただし、長期的にケーブル振動が続けば橋全体に影響が及ぶ恐れがあるので、早期に根本的な対策を講ずる必要があるとも考えている。原因調査、今後の対応策については技術検討委員会からの助言をもとに進め、由利橋を安全安心に利用していただけるよう努めている。

## 由利橋の問題は



大友ます子 (高志会)



合併20周年記念事業の  
成果と検証は

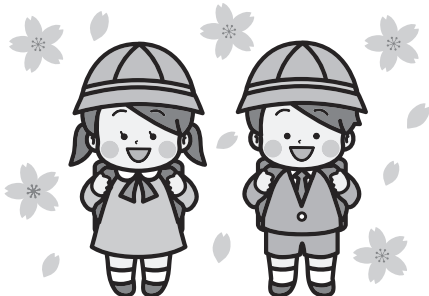
**問** イベントを通じて本市の魅力発信や地域の資源を再認識していく事が大切である。イベントは市内外へどう反映されたか。

**答** いずれの事業も高い関心があり市外から訪れた多くの方々にも本市の魅力や観光資源などへの関心を高めていただく契機となった。また、記念式典で上映した「記念映像」は市民には「住み続けたいまち」であることを、市外の方々には「訪れてみたい、住んでみたいまち」を想起させる作品であり、今後の関係人口の拡大につながるものと認識している。

小中学校の入学支援金  
制度の創設について

**問** 入学時に係る親の負担軽減のため、入学支援金を支給する新しい制度の創設の考えは。

**答** 入学時に必要となる費用については、保護者の一定の負担となつてはいることは承知しているが、公平性や持続可能性を踏まえ慎重に見極めていく。一方で新年度からの支援については、小学校給食費の無償化や、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備に取り組んでいる。今後も、国の制度や他自治体の動向を注視しつつ子育て世帯への支援の充実に努める。



市の障がい児福祉の  
充実について



小田彩 (高志会)



**問** 市の医療的ケア児の現状と次期障がい児福祉計画に向けての制度化は。

**答** 本市の医療的ケア児は令和7年4月1日現在で9名おり個々の状況に応じて柔軟に支援を行っている。次期障がい児福祉計画における支援の制度化については、自立支援協議会等で意見をいただきながら、今後示される国の基本指針の内容も踏まえ、医療的ケア児に対する持続可能な支援の在り方を計画に反映していきたい。

**問** 医療的ケア児の保育所等通所における支援体制は。

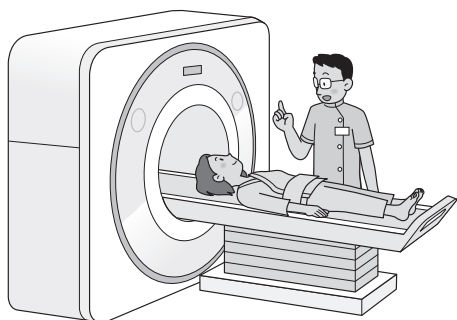
**答** 本市では訪問看護事業所へ委託し看護師を保育所等に派遣する体制を構築しており、令

乳がん検診の  
無痛MRI検診について

和8年度の入所希望の受け入れに向け、調整を進めている。地域の小・中学校へ就学が可能と判断したときには、必要な医療的ケアに対応できる看護師資格を有する支援員を配置している。今後、支援体制のさらなる充実に努めていく。

**問** 市として費用助成を行う考えは。

**答** 無痛MRI検診は痛みや心理的忌避を一定程度解消できる反面、市が行う検診としては実用性の問題があると捉えている。市としては、既存の乳がん検診の受診率向上に向け、体制づくりに努める。





大友孝徳  
(市民の窓口)



本市でも稼ぐ挑戦を

**問** 山形県西川町のNFT活用  
に学び「稼ぐこと」に取り  
組む姿勢を。

**答** 自主財源確保の観点から  
「稼ぐこと」に取り組んで  
いるが、NFT活用は全庁的検証  
が必要のため、国の「ふるさと住  
民登録制度」の活用も視野に「稼  
ぐ力」の強化と推進を図る。

**問** 岩手県山田町の先行事例に  
学び、フリマアプリで閉校  
備品を売却しては。

**答** 閉校備品は小中学校や公共  
施設で活用する。活用品途  
が見つからない備品は、これまで



思い出っばいの校舎備品

と同様に広報を通じて市民に競売  
を実施するなど、可能な限り市の  
収益となるよう努める。

住宅向けPPA導入で  
家計支援と脱炭素および  
災害耐性向上を

**問** 本市の家庭や事業所が支払  
う電気代金を地域内で循環  
させるため、地域エネルギー会社  
を設立し、太陽光を初期費用ゼロ  
で屋根などに設置するPPAモデ  
ルを導入しては。

**答** 本市では新電力会社設立や  
PPA導入は検討しないが、  
再エネ活用による地域経済循環、  
脱炭素、災害対策や住民の負担軽  
減に繋がる取り組みを推進する。

地域間格差を生まない  
部活動地域展開のために  
交通支援を

**問** 市所有バスを活用して保護  
者の送迎に依存しない仕組  
みを構築し、持続可能な部活動地  
域展開を目指しては。

**答** 市所有バスが本来の利用に  
加えて送迎支援を行うこと  
は、運行管理や公平性の観点から  
実現は難しい。



栗野希穂  
(立憲民主党)



「この街で、もう一人」と  
願える子育て支援を

**問** 児童手当の支給額が減額さ  
れる「3歳から小学校就学  
前」までの期間に対し、市独自の  
上乗せ給付を。

**答** 新たな財源確保の課題に加  
え、事務手続き上に大きな  
課題がある。

**問** 既存施設へ大型遊具を導入  
する等、屋内遊び場の整備  
を。

**答** 子育て世代が、市外の遊び  
場を利用して現在の現状や子  
育て支援環境の整備への期待、よ  
り充実した屋内施設を望む声があ  
ることは認識している。「こども  
プラザあおぞら」への大型遊具導  
入については、仮にホールに設置  
した場合、多くの子ども達がホー  
ルで楽しんでるボール遊びや卓  
球などのスペース確保が難しくな  
る。

熊スプレアの適正な  
管理と廃棄に関する周知・  
回収体制の整備について

**問** 市民への周知と啓発につい  
て。

**答** リーフレットや市ホームペ  
ージへ廃棄方法について分  
かりやすく知らせるとともに、不  
法投棄対策にも努める。

**問** 中身が入ったままの状態  
でも受け付ける「一時回収窓  
口」の設置を。

**答** 利用見込みやニーズの観点  
から現時点では、設置は考  
えていない。相談や持ち込みがあ  
った場合には、適切に対応する。



## 1月臨時会

### 補正予算（主なもの）

- 衆議院議員選挙費
- 物価高騰対策事業費

可決

## 3月定例会

### 人事案件

同意

- 副市長の選任（任期：4年）  
高橋重保氏（新任）東由利地域館合
- 教育委員会教育長の任命（任期：令和8年4月1日～6月29日）※前教育長の残任期間  
土倉新也氏（新任）西目地域出戸

### 人事案件

異議なし

- 人権擁護委員（任期：3年）  
小野長清氏（再任）東由利地域館合  
松永美貴子氏（再任）西目地域出戸  
宮本康博氏（再任）鳥海地域上笹子  
佐藤智佳氏（再任）鳥海地域上川内  
吉尾聖子氏（新任）大内地域岩谷町  
佐藤博敦氏（新任）東由利地域館合

### その他（主なもの）

可決

- 総合計画ゆりほん未来プラン  
基本構想及び基本計画の策定について
- 過疎地域持続的発展計画の策定について

### 条例関係（主なもの）

可決

- 看護師等確保修学資金貸付条例の制定について
- 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 老人福祉施設財政調整基金条例の制定について
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例案
- 医師確保奨学資金基金条例の一部を改正する条例案
- 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- 高齢者活動促進施設条例の一部を改正する条例案
- 上水道事業給水条例等の一部を改正する条例案



### 契約関係（主なもの）

可決

- ◆ 6災354号普通河川西目川左右岸河川災害復旧工事請負契約の締結について  
契約金額：1億7930万円  
契約の相手方：株式会社三浦組
- ◆ 6災378号その他市道上黒森沢線道路災害復旧工事請負契約の締結について  
契約金額：2億3540万円  
契約の相手方：山勇建設工業株式会社

### 請願・陳情結果

#### 継続審査

- 陳情第1号  
選択的夫婦別姓制度の導入を国に求める意見書提出についての陳情

秋田弁護士会 会長 竹田勝美

#### 不採択

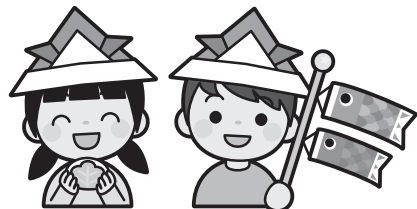
- 陳情第2号  
インボイス制度の廃止を目指し、事業者の負担を軽減する経過措置の継続を国に求める意見書提出についての陳情

秋田県商工団体連合会 会長 小玉正憲

#### 趣旨採択

- 陳情第3号  
最低賃金の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書提出についての陳情

秋田県労働組合総連合 議長 高野智子





**採 択**

○請願第1号  
 免税軽油制度の継続を国に求める意見書提出についての請願  
 東北索道協会 秋田地区部会 会長 草薨作博  
 紹介議員 佐藤義之

**委員会発案**

●委員会発案第1号  
 免税軽油制度の継続を国に求める意見書の提出について

**意見書提出**  
 衆議院議長 参議院議長  
 内閣総理大臣 総務大臣  
 財務大臣 国土交通大臣

**可 決**

○議員発案第1号  
 市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について

**議案表決結果一覧表**

○：賛成 ×：反対

案件名	高 志 会										明日をひらく				立憲民主党		市民の窓口		公明党		無所属		表決数		議決結果
	高橋 信雄	伊藤 順男	堀井 新太郎	小田 彩	佐藤 義之	甫仮 貴子	長谷 久利	佐藤 健司	大友 ます子	佐々木 司	正木 修一	泉谷 起馬	新宅 慈	小松 浩一	渡部 聖一	岡見 善人	栗野 希穂	大友 孝徳	松本 学	佐藤 正人	橋島 達也	小川 光弘	賛 成	反 対	
陳情第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	1	継続審査
陳情第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	2	19	不採択

※陳情第1号：「選択的夫婦別姓制度の導入を国に求める意見書提出についての陳情」について、継続審査とするかの採決  
 ※陳情第2号：インボイス制度の廃止を目指し、事業者の負担を軽減する経過措置の継続を国に求める意見書提出についての陳情  
 ※佐藤健司議長は、採決に加わりません。 ※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。



**由利本荘市議会は議会改革に取り組みます。**

**～ 3月定例会において議会改革特別委員会を設置 ～**

市民により信頼され、開かれた議会を目指し不断の決意をもって改革を進めることが重要であると考え、議会改革にかかる調査研究および提言を効率的かつ集中的に行うことを目的として10人の委員で構成する議会改革特別委員会を設置しました。

**【議会改革特別委員会】**  
 委員長：伊藤順男 副委員長：正木修一  
 委員：橋島達也・佐藤正人・大友孝徳・泉谷起馬・小田彩・堀井新太郎・甫仮貴子・岡見善人  
 作業部会：岡見善人（部会長）・大友孝徳・泉谷起馬・堀井新太郎  
 オブザーバー：佐藤健司（議長）・小松浩一（副議長）



## 議会を見よう！知ろう！

### ▶ 次の定例会は5/29~6/17 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- ★議会を傍聴！ライブで！
- ★会議録で読む
- ★ケーブルテレビで生中継
- ★由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信

由利本荘市議会YouTubeチャンネルはこちら→



## 市議会カレンダー

### ● 6月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
5/17	18	19	20	21	22	23
				28	29	30
31	6/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27

5月20日(水)  
正午までに受理する  
請願・陳情を審議  
する予定です



議会の予定は変更になる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)

## 議会日誌

1月	8日	議会報編集特別委員会 会派代表者会議
	15日	議会報編集特別委員会
	21日	議会運営委員会
	26日	臨時会 議会全員協議会 市民と語る会実行委員会 産業建設常任委員会協議会
	2月	5日
	6日	令和8年度予算説明会
	16日	本会議(開会) 議会全員協議会 会派代表者会議 議会報編集特別委員会
3月	4日	本会議(会派代表質問)~5日 会派代表者会議
	5日	本会議(一般質問)~6日
	6日	議会運営委員会
	9日	委員会(議案審査)~11日
	18日	議会運営委員会 本会議(閉会)
	28日	議会報編集特別委員会

3月定例会

## 議長公務(主なもの)

1月	5日	新春商工パーティー
	11日	二十歳を祝う会
	12日	消防出初式
	16日	管工事協同組合新年会
	17日	ふるさと応援大使情報交換会 (東京都)
	25日	丸亀市市制施行20周年記念式典 (香川県)
	27日	JA秋田しんせい農政集会
	29日	由利本荘青年会議所新年祝賀会
	30日	秋田県市議会議長会定例会
	2月	4日
5日		優良技能者表彰式
10日		スポーツ表彰式
	12日	全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都)
3月	1日	由利本荘市民スキー大会
	21日	能代市市制20周年記念式典
	24日	県立大学卒業式・大学院修了式



【議長公務】  
詳細はこちらから↑

## 議長交際費

	1月	2月	3月
慶祝、協賛など	72,580円 (9件)	11,500円 (2件)	13,000円 (2件)
弔事	30,000円 (1件)	0円 (0件)	20,000円 (1件)



【議長交際費】  
詳細はこちらから↑



大内中学校 3年

伊藤 柁羽 さん  
(町内名 長坂)

# アイラブ LOVE ゆりほんじょう vol.42

鳥海小学校 6年

黒木 莉空 さん  
(町内名 下伏見)



## あたたかさとおだやかさ

**僕**の住む地域のよさは、雰囲気です。登校中に地域の人にあいさつをすると、笑顔で返してくれてとても嬉しくなります。「元気?」「学校は楽しいか?」時々そんな会話になって、まるで家族のように見守ってくれるあたたかい雰囲気が大好きです。また、勉強の息抜きに外に出て深呼吸すると、「空気がおいしい」と感じることもあります。たまに、野生のたぬきを見かけてほっこりすることもあります。時間がおだやかに流れているような雰囲気も大好きです。

大内中学校では、今年度、地域の人と一緒にクリーンアップ活動を行いました。毎年行われる「おうち春まつり」では、吹奏楽部や僕たち科学部も参加し、盛り上げています。これからも地域との繋がりを大切に、地域のよさを持続できるように貢献していきたいです。

## これからも続いていく本海流鳥海獅子舞

**ぼ**くは今年、学校の民俗芸能学習で「本海流鳥海獅子舞」に取り組みました。これは鳥海に400年も続くものですが、ぼくの父も曾祖父も取り組んでいて、地域には伝承している方々がたくさんいます。元々ぼくは鐘をやっていましたが、今年はじめて舞に挑戦しました。鐘と違い難しいところもありましたが、飛鳥祭や生涯学習発表会で保護者や地域の方に見ていただき、喜んでもらいました。また、毎年8月16日の夕方から夜にかけては、鳥海獅子まつりが開催され、迫力ある舞、華麗なる舞に会場が盛り上がります。この獅子舞が400年前からとぎれないのは、伝承している方々のおかげであり、これから引き継ぐのはぼくたちです。獅子舞が続いていくのは地域にとってもぼくにとってもうれしいことです。

## まちの声から



加藤 かとう

明 あきら さん

本荘地域  
(町内名 蓼沼)

### 市と町内会

由利本荘市政二十年の歩みを重く感ずるこの頃です。市の要請を受け、町内会が担っているゴミステーション管理、市が中止し町内会に委ねた敬老会実施などは、町内会運営に重くのしかかっています。

一方、高齢による退会者増・新規会員の減少・役員の担い手不足など、課題は山積みであり、町内会を取り巻く環境は、時代と共に厳しさを増すばかりです。

市の基本構想にある『市民一人ひとりが希望を叶え自分らしく暮らすまち』を実現させるためには、市と町内会が一体となって、住民一人一人に寄り添う事が肝要であり、そのためには、市と町内会が、もっと時間を掛けて話し合う場を設けるべきです。

市議会議員の皆様には、町内会の小さな声を拾い上げる「オープンな市政」を実現させて、魅力ある由利本荘市にしていただけるよう願うばかりです。

## 編集後記

今号では、令和8年度の当初予算や、3月定例会での活発な議論の模様をお届けいたしました。少子高齢化やそれに伴う人口減少など、本市が直面する大きな課題に向けた取り組みが新年度とも動き出しています。

私事ですが、この3月に、平成3年の開校から長きにわたり歴史を刻んできた尾崎小学校最後の卒業式に出席いたしました。母校が幕を下ろす寂しさを抱えつつも、巣立っていく子どもたちの立派な姿に、本市の未来を託す頼もしさや希望を強く感じました。今号の紙面でも多く取り上げられた子育て支援や教育環境の充実を通して、これからの由利本荘市を担う世代の健やかな成長を、地域社会全体で支えていかなければと決意を新たにしています。

今年度も、市民の皆様のご暮らしに直結する議会の動きを、より身近で分かりやすくお届けできるように努めてまいります。  
(橋島達也)

### 議会報編集特別委員会

委員長 佐藤 正人  
副委員長 大友 孝徳  
委員 橋島 達也  
佐々木 司  
新田 希彩  
小野 希穂  
栗野 順男  
伊藤 順男

(議席順)